

ネコソギDCM6粒剤

ラベルをよく読む。記載以外には使用しない。小児の手の届く所には置かない。

農林水産省登録 第24544号

農薬の種類 ブロマシル・DCMU粒剤

成分

- ・ブロマシル・・・・・・・・・・2.0%
- ・ジウロン（DCMU）・・・・・・・・3.0%
- ・鉱物質微粉等・・・・・・・・・・95.0%

性状 類白色～淡褐色細粒

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数※			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 等	一年生雑草	雑草 発生前	5～10 g/m ²	植栽地を 除く 樹木等の 周辺地に 全面土壌 散布	本剤及び ブロマシルを 含む農薬	DCMU を 含む農薬		
		一年生及び 多年生雑草	雑草 生育初期	10～20 g/m ²				2回 以内	3回 以内
			雑草 生育期	20～40 g/m ²					

※は本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬を、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

- 雑草発生前では1 m²当り 5～10g、生育初期では1 m²当り 10～20g、
生育期では1 m²当り 20～40g を均一に土壌に散布します。


ネコソギDCM6粒剤の特長

- 粒のまま地面にパラパラまくタイプの除草剤です。
- 天候や土壌の条件、雑草の種類により異なりますが、1～2週間で枯れ始め、30日

前後でほとんど枯らします。


- 成分が土壌に一定期間とどまるので、新しい雑草の発生を予防できます。この効果は約4～6か月間持続します（散布時期や使用量、雑草の種類等により差が生じます）。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 散布適期は雑草発生前、雑草生育初期（草丈20cm以下）及び雑草生育期（草丈40cm以下）であり、生育の進んだ雑草には効果が劣るので、時期を失しないように散布する（効果）
- 樹木類等の植栽地に流入または飛散するおそれがある場所では使用しない（薬害）
- 植物の根から吸収されると薬害が発生するので、水田や水田への利用が考えられる用水路等に本剤の流入が想定される場所や、農作物および樹木類等有用植物の付近では使用しない（薬害）
- 本剤が流出するような激しい降雨が予想される場合は散布を行わない。
- 傾斜地や砂質土壌では、本剤の流出による薬害のおそれがあるので使用しない。
- 本剤を散布した場所やその付近では、植物の植付けは行わない（薬害）
- ハウス等の施設周辺では使用しない。
- 土壌が乾燥しているときは効果が劣る場合があるので、適度の湿り気のあるときに均一に散布する（効果）
- 水源池、飲料用水、灌漑用井戸、養殖池等に本剤の飛散や流入及び浸透が想定される場所では散布を行わない。
- 散布器具、容器はよく洗浄し、洗浄廃液は直接河川や用水路に流れ込まないように十分注意し、環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 空袋、空容器等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましい。

安全使用上の注意

- 眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける（刺激性）

- 皮ふに付着しないように注意。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落とす（弱い刺激性）
- 散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 公園、堤とうなどで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。
- 子供の手の届かない場所に保管する。

魚毒性等・・・河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意（藻類）

散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さない。

保管・・・密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。